

キャラクター名 プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ ウロボロス	ワークス	高校生	カヴァー	高校生(全盲)
オプション		年齢	15	性別	男
覚醒	感染	衝動	妄想	初期侵食率	35%
出自	待ち望まれた子	経験	長期入院	邂逅	死

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	32
肉体	4	1	0			5	行動値	4
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	4
精神	2	0	0			2	戦闘移動	9
社会	1	0	0			1	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			RC	2		交渉		
回避	1		知覚	2		意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:学問(医学)	3		情報:噂話	4	
運転:			芸術:			知識:レネゲイド	1		情報:UGN	3	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
破壊の爪	白兵	5r+2	1	LV+8		
	白兵	10r+2		9+2D10		侵食値12、ミドルで殴る
	白兵	10r+2		39+7d10		侵食値21、80%~99%でやむ得ない時に殴る
	白兵	11r+2		60+14d10		侵食値40、100%~全力で殴る、射程視界。

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ:噂好きの友人	
思い出の一品	
メモリー「万羽鶴」	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
"対抗種"	P	N		
血縁の人たち	P 幸福感	N 隔意		
真壁先生	P 尊敬	N 隔意		
深定 海	P 純愛	N 猜疑心		
	P	N		
キヨさん	P 連帯感	N 隔意		
ユノユノさん	P 尊敬	N 隔意		

最大財産P: 4 残り財産P: 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセ:ウロボロス	2	2	メジャー		-	対決		
効果:	C値を下げる							
破壊の爪	1	3	マイナー		自身	自動		
効果:	素手のデータを変更							
完全獣化	3	6	マイナー		自身	自動		
効果:	【肉体】のダイスにLV+2							
シャドーテンタクルス	1	1	メジャー	10m	-	対決		
効果:	白兵攻撃の射程を10mに変更							
白:マシラのごとく	3	7	メジャー		-	対決	80	
効果:	LV×10ダメージに加算。判定ダイス-5							
黒:フェイタルヒット	3	6	オート		-	自動	100	
効果:	自身の攻撃判定時使用。ダメージダイス+LV個							
神獣撃	3	2	メジャー		単体	対決	80	
効果:	ダメージダイス+ (LV+2)。完全獣化中のみ使える。使用後は完全獣化が解除される。							
獣の王	1	4	メジャー		単体	対決	100	
効果:	組み合わせた攻撃のリアクション不可。シナリオ1回							
永劫進化	1	3	セット			自動	100	
効果:	原初の●●と名の付くエフェクトに+1LV。シナリオ1回。							
背教者の王	1	4	メジャー			対決	100	
効果:	侵食値÷10攻撃力に加算							
鋭敏感覚	★							
効果:								
イジーファイア:傅く歯車	★							
効果:								
効果:								

何処にでもいる不器用で心優しく善性を宿している、ごく普通の高校生。やや虚弱体質。好きな食べ物は舞茸の天ぷらと豆大福、嫌いな食べ物は冷えたボソボソの炒飯。
 ちょっとかっこいいかなあと思って髪を伸ばして。若干暑い。

「いつも朗らかで明るく、一つ一つの縁を大切にする子に育てて欲しい」という祈りを込めて名前を付けられた。望望の第一子として生を受ける。広澄家の血縁者はそれまで子室に恵まれなかったため、周囲からのしっかりと愛情を一身に受けて育つ。その後すくすくと育ち小学校へ入学。何かの拍子で席が横になった「深定海」と親しくなる。何か...ずっと喋る明るくて面白い奴だなあははは。本人はその話を非常に楽しんで聞いていた。

しかし学年が5年生になったばかりの頃、小児性心臓疾患を抱える。入院を何度も繰り返し、毎日のように体調不良に見舞われる、絶対安静の毎日。今までとは180°も異なる、同年代の子どものように遊ぶことも、学校へ行くことも出来ず孤独な日々を送る。それでも、深定海は毎日のように放課後お見舞いに訪れ学校での話をしに来てくれた。時には喧嘩やすれ違いもあったが、それでも何度もお見舞いに来て、色んな話をしてくれた。明るく話すその姿に何度も救われた。

6度目の入院の際、中学2年となった頃にとある内科の医師を紹介される。「真壁 唐七」という医師である。それまでの担当医とは異なり、いつも彼の病状の状況、世間話などを事細か数時間かけて聞き、それを基にした適切な処置により疾患は根治することに成功。深定海が精神的な助けだったとしたら、この真壁医師は緑郎の肉体面を助けた、といっても過言ではない。そして彼のその姿に憧れを抱き、いつか自らも医師になりたいと夢を抱く。

そして高校生となる。今までのように疾患の症状は出ることは殆どなくなった。昔と変わらず深定海の話を楽しげに聞く毎日。第二次成長期に入り関わり方や話し方の変化さえあれど、いつもと何ら変わらない日常を送っている。高校では美化衛生委員会に所属し、将来は小児科医となるべく週一、二で真壁医師(現在では先生かクソジジイと呼んでいる)の元へ通い勉強をする毎日。

いつもと変わらない日常が、何でも無い毎日がこのままこれからも続くかと思っていた。